

【ご来場ありがとうございました！ 皆で楽しんだ秋祭り！！】

今年の秋祭りも気持ちの良い秋晴れの中、盛大に行われました。花苗の販売は、消費税率の引き上げに伴い、今回から価格が変更となりましたが、それでもたくさんのお客様に来ていただきました。販売開始の30分も前から、行列ができていました。列に並んでいる方々に秋祭りにつ



いて、お話を伺うと「このセールは、とても安い！」「毎回楽しみにしている」と言っただけ大盛況でした。

施設内ではスタンプラリーやゲームコーナーを楽しんでいるお子様連れのご家族が多くいらっしゃいました。スーパーボールすくいでは、ボランティアさんのはからいで「ポイ」が取れにくくなっており、いつもより多く取れるようになっていました。数が

たくさん取れたり、大きなボールが取れたりして、参加した方はたくさん持ち帰ることができて、嬉しそうでした。パチンコやお菓子釣りでも

「取れた！やったー！！」「あ～惜しい！」などの声が飛び交い、楽しんでいただけていました。また、今回のスタンプラリーは、スポーツの秋ということで、葦の会オリジナルスポーツテストを行いました（俊敏性測定！＝棒つかみ、肺活量測定！＝ストローボーリング、柔軟性測定！＝立位体前屈）。親子で競い合いながら行ったり、年齢別平均



値を見て一喜一憂したりと各階の会場では、大変盛り上がっていました。模擬店では、一番人気のサターアングギーは昼前には売完！お餅つきも、小さなお子さんたちが蒸されたもち米がだんだんお餅になっていく様子を興味深げに見ていたり、お餅つきに参加してくれたり、「よいしょ～！頑張れ～!!」という声と共にとても盛り上がっていました。つくたてのおもちもとてもおいしい！と好評でした。お餅つきに奮闘してくださったボランティアさん、「だんだん手に力が入らなくなってきた～!!」と言いつつも最後まで美味しいお餅をついてくださいました。3階のさわり織り体験や、多肉植物寄せ植えは相変わらずの人気です。寄せ植え用にメンバーが日ごろのいきいきタイム陶芸で造った器を出しているのですが、その器もとても素敵！と言っただけうれしい限りです。



そして、各ブースでは、メンバーの皆さんが頑張ってくれました。まず、スタンプラリーの用紙を松本さんと田沢さんが、大きな声で「いらっしゃいませー」「どうぞー」と言いながら配ってくれました。スタンプラリーでは、一階で白井さんが「スタンプラリーこちらです」「二か所でやっているの、こちらもうぞー」など、大きな声で積極的に進行を行ってくれ、二階・三階で

も久保さんや秀島さんが、楽しく盛り上げてくれました。花苗売りでは、桑原さんや花田さんが、販売の補助をだけでなく、購入していただいた花をお客様の自転車まで、運んだりしてくれました。最後に、当日は来場者数が多く、各ブースでの進行が大変だったと思います。ご協力して頂いたボランティアの皆様には感謝しております。ありがとうございました。（中江）

あしの家だより



佐久間 本間

今年も残り1か月あまりとなり、日中は暖かいのですが朝夕は冷え込み冬を感じ始めました。今のところ風邪をひいて体調を崩す人もなく過ごせています。ホームのメンバーさんはここ数年インフルエンザ予防接種を受けていますが、全員11月中に接種することが出来ました。昨年同様インフルエンザやノロウイルスにかからないで欲しいものです。10月は台風や大雨により各地で浸水被害があり、未だ避難所で生活を余儀なくされている状況ですが、またいつ災害に見舞われるか心配はつきません。ホームでは年に数回避難訓練を実施していますが、もし実際に災害が起きる状況になった時に冷静でいられるかどうか不安です。今回の台風では停電になった地域がたくさんあったことも考え、万が一に備え10月30日夕食の間だけ両ホームとも停電訓練を行いました。テーブルに人数分のライトを置き、リビングや廊下は照明、テレビを消した状態で食事をしました。メニューは非常食で備蓄してあるアルファームの五目ご飯（お湯を使用したもの）具沢山スープ、乾パン、漬物、バナナ、といつもより質素な食事をアルファームに付いている小さなスプーンでお皿に取り分けずに食べてもらいました。アルファームを今日はお湯で作ったので温かいけど、状況によってはお水で作ることになると冷たいご飯になるかもしれない、今日はスープやバナナもあるけど、ご飯だけになって



しまうこともあることを説明し、少し不安な様子でいつもと違う雰囲気です。訓練時にメンバーさんから「電気ついて欲しい」「地震来る?」「テレビ付かないねー壊れちゃった?」「暗いと何を食べているかわからない」「本当の避難はしたくない」「いつものご飯がいいね。」などと不安な言葉ばかりでした。ご飯のパックの上からライトをあて食べようとしている人もいました。小さいスプーンではすくいづらく思うように口に運べず、パックやお椀を口に付けて食べている人が多く見られました。暗い中ライトで食べていることにやや興奮をしていた人や楽しんでいた人もいましたが、あまり騒ぐこともなく食べることが出来ました。いつもは食べ終わった順に食器を下げるのですが、この日は全員でご馳走様をしてもらい電気を付け、テーブルの上や下にたくさんこぼれていることを確認してもらい片づけてもらいました。数人にライトを手にして自室まで歩いてもらいました。階段は声を掛けなくてもゆっくりと上がっていました。短い時間の停電訓練の体験ではありましたが、実際停電した状態での生活は想像以上に不安になると思います。そのためいろいろな形で訓練を行い、課題を話し合いながら繰り返し訓練を行い、不安を取り除いておきたいと思います。



さて、西新井ホームの仁さんは以前は休みの日は広告でゴミ箱を折っていました。突然全く折らなくなりました。誰だってやりたくないこともある！とあまり勧めませんでした。ひと月前くらいにまたお願いしてみようと声をかけました。その日はただ広告を触っているだけでした。翌週もお願いをしました。何とか折ろうとしている様子が見られましたので目の前で世話人がゆっくり折っているとじっと見ていて、世話人が3個目を折っている途中で本人が折りはじめ、スローペースではありますが継続して折ることが出来ています。また仁さんお願いしますね！！

< 花売り情報 >

12月 5日(木)・17日(火)・25日(水) 竹ノ塚センター

12月11日(水) ビッグ・エー花畑店

12月12日(木) ベルクス南花畑店

12月18日(水) ビッグ・エー南花畑店

12月19日(木) ベルクス古千谷店



こんにちは。皆さんいかがお過ごしでしょうか。さて葦の会作業所では、秋祭り 11/2 秋旅行 11/18 11/19 と大きなイベントも終えいよいよ年末です。世間も慌ただしく仕事も忙しくなってくると思います。もちろん気温もグッと下がっていますので畑作業や花売りに関わるメンバーさんは特に防寒対策をきちんと行ってください。昼間のハウス内の暖かさとハウスの外、午後日が陰ってきた時間帯の温度差も大きく体調管理がとても難しい季節でもあります。風邪やインフルエンザにもくれぐれも気を付けて元気に仕事をしていきましょう。インフルエンザに関しては11月の時点で大流行が発表されています。ここで簡単にインフルエンザの症状と対策についておさらいしてみましょう。

インフルエンザ（流行性感冒）と風邪（普通感冒）は異なるものですが、初期症状では区別が付きにくいものです。インフルエンザはインフルエンザウイルスによって引き起こされる疾患で、A型・B型は感染力が強く、大きな流行を起こします。典型的なインフルエンザは、ウイルスの感染を受けてから1~3日間の短い潜伏期を経て、38℃以上の高熱や頭痛、筋肉痛、関節痛、全身の倦怠感などの症状が突然あらわれ、この後、咳、鼻汁などの上気道炎症状が続き、約1週間で軽快します。一方、風邪の原因ウイルスは特定のものではなく、10種ほどのウイルス（型によって分類すると200~300種類）によるものです。それぞれ症状に違いはあるものの、一般的に症状は鼻水など軽いもので、ウイルスの感染力も強くありません。対策に関してまず感染経路ですが飛沫感染（ひまつかんせん）と接触感染（せっしょくかんせん）の二つがあります。飛沫感染とは感染者のくしゃみや咳、つばなどの飛沫と一緒にウイルスが放出され別の人が口や鼻から吸い込み感染。接触感染とは感染者がくしゃみや咳を手で押さえてしまいその手で周りのものに触ってウイルスが付き別の人がそのものに触ってウイルスが手についた手で口・鼻・目などを触って粘膜から感染してしまうのです。インフルエンザを予防するためにはこうした飛沫感染・接触感染といった感染経路を断つことが重要です。ではインフルエンザから身を守るためにはどうしたらよいでしょうか？（1）正しい手洗い（2）普段の健康管理（3）予防接種を受ける（4）適度な湿度を保つなどがあげられますが、特に『正しい手洗い』をメンバー皆さんには頑張って行ってほしいと思います。例えば⇒畑での土いじりや土で汚れた軍手をして、作業している時に目や鼻や口が



痒くなったりしてどうしても触ってしまうときなどは、必ず水道で手を念入りに洗ってから！おやつを食べる前にも必ず手を洗いましょう！畑作業から作業所に戻る時と昼食を食べる前にももう一度念入りに手を洗いましょう！実は風邪やインフルエンザなど、病気を引き起こす感染症の多くは《手》を介して体に侵入するのです。畑作業は特に土や道具などを直接触る機会も多く、寒さや力仕事で体力を消耗することも多く、風邪やインフルエンザに注意して皆さんひとりひとりが自分の体調にしっかり気を配りましょう。体は資本。健康でなければ良い仕事は絶対に出来ません。12月の皆さんの頑張りが来年また、素敵なお花たちをお客さんに届けるために重要だと思います。



のんびり〜♡そして圧倒される大きさ！秋旅行

作業所の説明をする機会に「(葦の会作業所には何人所属しているんですか?)と聞かれることがあります。今は36人。「年齢は?」20才~70代まで。20代と50代が多いです。障がいは当然幅や種類があって、加えておくと体脂肪率は10%~40%台。園芸ができるぐらいにはみんな元気です。「そういう人たちがどんなところへ旅行に行くのですか?」と聞いてきた人はいませんね。一泊二日で毎年行っています。

今年出かけたのは11月18、19日。

今回の最大の目当ては飛行機の整備工場見学です!旅行の行き先によく用いる「景色・動物・乗りもの」のなかで念願だったもので、何が念願って、予約がとりづらい。ANAとJALの2社が羽田空港で毎日数回行っていますが、職員含めた旅行参加者45人の大所帯となると、なかなか空きがない。なにせこ

の日程に決まったのは、予約可能な半年の間で唯一、ANAの11月19日、2時30分~の回に入ることができたからです。40分ほどある座学の時間をみんなが我慢できるだろうかという心配もありましたが、特別支援学校が参加することもあると聞きましたし、とにかく予約が取れる幸運に乗ってしまえと決めました。(心配したのは独り言や多動で他の人に迷惑をかけることです。“特別支援学校”はくくりが広く、どういう障がいを持った人たちなのか不明瞭で、葦の会も平気!とすぐにはなりません。結果として理事長の西澤さんが「みんな静かに聞いてきたねー。感心したよ。」というぐらいに聞けたので良かったです。)



このまま飛行機に対するみんなの思いと工場見学の話だけで2ページ埋めてしまいところですが、一応時系列に沿って全体を説明しましょう。まず向かったのは成田山新勝寺。正月の参拝客はもちろん、

節分に横綱や成田屋が豆をまく大きなお寺ですね。この頃は空がぐずつく日が多くて、出発してから降ったり止んだり降ったりで、水越さんは旅行が楽しみで仕方がない気持ちが逆回転して「こんな天気だなんて折角の旅行が残念だよ」とぶつくさ言っていました。たしなめつつ、傘を持って車を降りると、あら不思議。雨が止んできました。「これは水越さんがあんまり言うんで不動明王が力を見せてくれたんですね」と釜本さん。それを伝えると、そんなことはないんじゃないかなと言いつつも、いくらか神妙な態度で境内を回り、

結局傘はさすことは無く晴れて上機嫌の水越さんでした。

昼食を終えて、次の目的地の香取市佐原へ。ここは日本地図を作ったことで知られる伊能忠敬が住んだ町で、昔ながらの町並みが残っています。水路を船で乗ること以外はグループに分かれて自由行動としました。僕のグループ、大久保さん・水越さん・遼さん・青木さんは花より団子なので、町並みの風情より路地裏のお好み焼き屋に行きました。ここが

1枚500円以下で味も量も十分。ポテト大好き遼さんはポテトベーコン焼きなるものを頼み満足そうで



した。水越さんは700円のセットで焼きそば・お好み焼き・サラダ・アイス・コーヒーと次々出てくると、「これもセット?これで700円?」と何度も聞いて信じられないようです。他のグループもお庭がきれいなカフェに行ったなど話してくれました。この日の宿泊地は鴨川。2日目は水族館から始まります。空は晴れて、太平洋の上に太陽が望める絶好のシーワールド日和になりました。

鴨川シーワールドといえば、シャチ。シャチがいる水族館は日本には鴨川と名古屋だけだそうです。パンダぐらい珍しいですね。シロイルカやセイウチなどいろいろ見ましたが、やはりシャチはすごい。イルカが軽く思えるほどの、重さが伝わってくる泳ぎです。ショーにはわずかな解説だけで次々と技が繰り広げられる、まさに言葉はいらぬ構成。まさに葦の会の旅行に求めるものです。前方の席は水をかぶることを知っていたので、カップの持参を呼びかけておきました。白井さんはイルカショーからカップを着ようとして、靴下を脱ぎズボンもまくって最前列にひとり陣取ったものの、開始1分で顔に水しぶきをくらってうつむいてしまい、「見ないともったいないよ、なんのために前に来たんだよ」と声をかけ、顔が上がったと思ったらまた水。ショーの途中に数列後ろへ撤退しました。願わくは良い思い出として残ってほしいものです。4列目ぐらいには女性陣数名と大久保さんがいて、こちらはしっかり前を向いて、大久保さんのニヤっとした顔も見えたので水しぶきを



を楽しめたのでしょ。しかし、“しぶき”という言葉は適当ですかね。至近距離からバケツで水をかけられるぐらいの衝撃ですよ。みなさんも良かったら前列を体験してきてください。

ここからまだ、いや、ようやく飛行機工場です。1時間半のバスでみんなぐっすり眠って元気一杯。座学を終えて工場に入ったら予想と違って、飛行機そのものより工場(ドック)自体の大きさに驚きました。飛行機が最大7機格納できる建物ですからそれは大きい。東京ドームの1.8倍です

て。掛け時計の直径が小柄な大人ぐらいあります。シャチでは後ずさりしていた遼さんも、この時は前のめりに熱心に見ています。この日は2機の飛行機が格納されていて、そのうちの1台が見学中にちょうど出ていくところで、大きなドアが開きました。高さ50メートルぐらいありそうな大きなドアです。それだけで驚きの光景。夕陽を背景に動いていく飛行機のかっこいいこと。人間界のシャチみたいなものです。自然とみんな一層口数がへって見入ってしまいます。飛行機が動くところに出くわすのは珍しいことのように、運が良いと案内の方が言っていました。でも、多くの飛行機が格納されているところを見下ろしてもみたく、実際に整備されている時に遭遇することもあるのでしょうか。メンバーはもちろん、男性職員中心に好評だったので、企画担当としては再度訪れたい場所でした。

それにしても晴れて良かった。良い旅行になった。お不動様ありがとうございます。(檜崎)

雨の紅葉 破風山 ハイキング!!

令和になって初めてのハイキングは、埼玉県にある破風山（はっぷさん）という山に行ってきました。場所的には荒川の川下りで有名な長瀬のあたりで、ロウバイでも有名な宝登山のすぐ近くにある山です。破風山という名前は、初めて聞いた時にはものものしい印象を受けましたが、下見の際の見晴らしはとても良く、紅葉も期待できそうな山だったそうで、天気良ければ最高だとの下見した人からの前情報。これは期待！

そして当日の天気は雨！では中止！！とはせず、私達は破風山に向かっていきました。ハイキング当日に雨が降り続けるのは過去あまりなく、私が入社する前の宝登山ハイキング以来とのこと。



今までが運が良かったんでしょうね。ただ、山のふもとに『満願の湯』という温泉施設がありまして、雨の中のハイキングか温泉で過ごすか選ぶことができたのは不幸中の幸い。ということで、今回はハイキング組と温泉組に分かれての行動となりました。

ハイキング組は全員カッパを着込んで出発。私含め、携帯しやすいビニールのカッパをほとんどの人が着いていたので、越前屋さんからの「ビニールの集団だ」とのツッコミが早々に入るほどに、ちょっと異様というかシュールな光景でした。

そんな集団が、柿やゆずの木などがたくさんあるのかな集落の中を歩いていき、だんだんと山の中へと入っていきます。普段なら景色を楽しむところですが、あいにくの天気。私はメガネをかけているのですが、レンズが雨にぬれ、私自身の熱気でくもってしまい、視界も悪く、メガネを外した方がまだ鮮明に見えるほどでした。ただ、それでも案外楽しめるものだったのは意外でした。視界が悪いながらも歩いている周辺の木々は紅葉しているのは見えますし、靴ひもを結び直した時にはどんぐりが落ちていることにも気付け、加えて、雨の音以外の音は少なく、絶景が見えると思われる場所では雲で真っ白なものも幻想的。普段はあまり感じることはない秋を楽しめる道中でした。



そういった楽しみ方があるからでしょうか。私達以外にも登山客はチラホラいて、天気関係なく楽しめるものだなという発見がありました。和也さんも下りを歩いている時に落ち葉で足が滑りそうだったようで、急な坂とかで「危ないんだー」などと言ったりしつつも、穏やかな表情で鼻歌を歌うなど楽しんでいる様子も見受けられたので、他の人も私と同じように楽しんでいたのかもしれない。

その後、ハイキング組は温泉組と合流し、近くの道の駅でお買い物をする時間もあり、行程としてはかなり充実した1日になったかと思います。温泉の方でも紅葉を楽しめ、なかなかいいお湯だったとのこと。お互い紅葉が良かったと話をしている内に来年また来るのも良いのではという話になりました。天気が悪くても楽しかったのですが、やっぱり天気の良い日の景色も楽しみたいですね。その意見に賛成の人も多かったので、同じ場所に行くことは過去にはなかったのですが、ここに限ってはリベンジがありそうです。

ちょっと楽しみ。できれば次はハイキング組も少し温泉に入れたらな、と思います。(秋葉)

作業所日記

吉井 祐気

11月は寒い日があったとは言うものの、日中は暖かい日が多く、比較的過ごしやすい月でした。11月のイベントとしては作業所祭り、エルソフィアでのエルフェスタの花売りや秋旅行の1泊2日などがありました。作業所祭りは天候に恵まれ、三連休の初日の11月2日(土)に開催しま



した。当日は他の場所でもイベントをやっているところがありましたが、大勢のお客さんが花などを買いに来てくれました。また、今年の秋旅行は千葉県成田山新勝寺、香取市佐原での船乗り・散策、鴨川シーワールドに羽田空港の格納庫での飛行機見学をしました。一日目は朝のうち雨が降っていましたが、到着する頃には雨は上がり日がさしてきました。

二日目の飛行機見学ではメンバーたちは間近に見た大きな飛行機に感動していました。私も一緒になって昔の小学校のような社会科見学ができて良い思い出になりました。今年もこうして秋旅行が終わり、12月になると今年もいよいよあと1か月で終わり過ぎ行く年に寂しさを感じます。あとは忘年会、大掃除で主な行事は終わりますが、あと1か月あるので残りを充実した日々をしたいと思います。

作業所では毎日年末に向けて忙しく作業をしています。内職では菓子などの箱折り、来年のカレンダーや通信教育の大学入学願書書類の封入、法事用のセットの箱折り詰め。木箱作りではぎんなんの木箱の注文が多くなりました。内職の作業が忙しくなると時々、畑班のメンバーも加わり全員で作業をやることがあります。このようにして納期に間に合うようにしています。また公園清掃では週に1回、2か所の公園を清掃しています。もう雑草はあまり多くありませんが、つる草は取っても、すぐにまた伸びてきます。落ち葉も今のところはそれほど多く落ちていません。ゴミは子供が遊ぶので駄菓子の袋がよく落ちています。公園は禁煙ですがベンチにはたばこの吸い殻もよく落ちています。子供たちが遊ぶところなので吸い殻はとても危険なのでポイ捨てはやめてほしいです。自転車清掃は合計29台で先月とあまり変わりありませんでした。最近では新しそうな自転車を預かりますが、その中には盗難された自転車が乗り捨てられ、それが放置自転車として移送所に送られることがあります。足立区は自転車の盗難が多かったですが、条例での鍵の施錠義務付けや駐輪場の整備もあり放置自転車が少なくなっています。



もうインフルエンザが流行しているようですが、うがい、手洗いを忘れずに今年の残りの日々を頑張ります。私はのどが痛くなったり、熱っぽくなったりするとすぐに市販の薬を飲んで寝ますが、それでも風邪をひいてしまったらすぐに病院に行って治しています。みなさんも風邪に注意してお過ごしください。



奥君日記よ (2019年11月)



- 1日 明日の秋祭りの準備をした。俺はスタンプラリー担当で白井さん、島田さんと練習をした。沢山お客さんが来るし、グループホームから誰が来るか楽しみだ。
- 5日 今週より畑班の俺達は、増田さんと「ノースポール・サクラソウの植え替え」
- 6日 畑では、午後より「花柄つみ」をした！帰りは俺と安部さんと、楽しかった安部さんとつまらなかった俺が居た。
- 8日 畑では、増田さんと植え替え。大竹さんも和也君と、内堀さんに聞きながら花を集めていたのが印象的だ。
- 10日 昨日の遼君に続き、今日は安部さんと内堀さんが、エルソフィアで花売りに来ていた。家が近いので差し入れにコーヒーを持って行く、寒さの中頑張っていた。
- 12日 今日は一日交通公園の植え込みだ。何となく体が「ピリピリしておかしい神経に流れている様だ。」皆頑張ったが、今日は水越君が光っていた様だ。
- 13日 本当に「俺の体どうしたのか困ったものだ」。大谷田南公園へは昨日のうちに断って良かったかもしれない。病院に行ったら軽い帯状疱疹だと言われた。
- 15日 竹ノ塚自転車掃除をやるが、以前から見ると大分少ない感じ。さて、よいよ秋旅行まで数日になった。この頃になると、だいぶ前から準備をする人や「明日やる人にわかれる。」
- 18日 秋旅行のバスでは安部さんの横で雑学の島田さんが前の席で楽しかった。佐原市の街並みが良かった。俺個人としては「木の下旅館」が今はトンカツ屋になっていた事や、古そうなしコード屋「大友レコード」が気になった。そして17年間歩いて日本地図を作った、伊能忠敬の銅像を見たのが印象的だ。一日で沢山写真を撮ったため松本君の携帯は電池切れ・・・？画面は黒くなっていた・・・。
- 19日 二日目の今日は鴨川シーワールドで「イルカ・シャチ」のショーを見た。俺としては島田さんに撮ってもらった動画の写真が気に入っている。ずっと島田さんの声が入っているからだ。昼食に食べた「サザエ丼」も美味しかった！そして、最後はANA機体工場を見学した。偶然にも「ドック」という格納庫より、機体が出ていく所が見えた。夕日に染まって外は綺麗な飛行場だった。何はともあれ「怪我もせず無事に帰ってきた事が嬉しい」旅行だ。
- 21日 さて、ここに前代未聞で、旅行でお金を使いすぎて何と池田さんにお金を貸してもらい、病院に行く駄目な俺が居た。世話人さんからも「この所のオッ君は、何か変・・・！？」と、言われる始末。困ったものだ・・・！！帯状疱疹は良くなっていた。



カルチャー教室 今後の予定

さをり 12月 7日

習字 12月11日・18日

音楽 12月19日

陶芸 12月14日

水彩画 12月はお休みです。

編集後記

スーパーにはクリスマスとお正月用品と一緒に並んでいる今日この頃。年末に向けて焦るというより、なんだかちっとも実感がわかない感じです。さて、以前この欄で「道草」という映画をご紹介しましたが、今度は「だってしょうがないじゃない」という映画をご紹介します。(ある年齢以上の方は和田アキ子さんの同名の歌を思い出されるでしょうが、全く別物です。)40歳を過ぎて発達障害の診断を受けた監督が親戚の発達障害と軽度の知的障害を持ち母亡き後、一人家で暮らす方を撮ったドキュメンタリーです。機会があればぜひ観てください。皆様良いお年をお迎え下さい。(池田)